

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2015年第46号(週報・月報合併号)

2015年第46週(11月9日~11月15日)、月報10月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 伝染性紅斑 過去5年間の同時期に比べかなり多い！海南、湯浅保健所管内で警報！ 一

伝染性紅斑は、ほっぺがりんごのように赤くなるのでりんご病ともよばれ、ヒトパルボウイルスB19というウイルスが原因で幼児期～学童期に多くかかる感染症です。

県全体の定点当たり患者報告数は、1.06人(前週:0.87人)と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

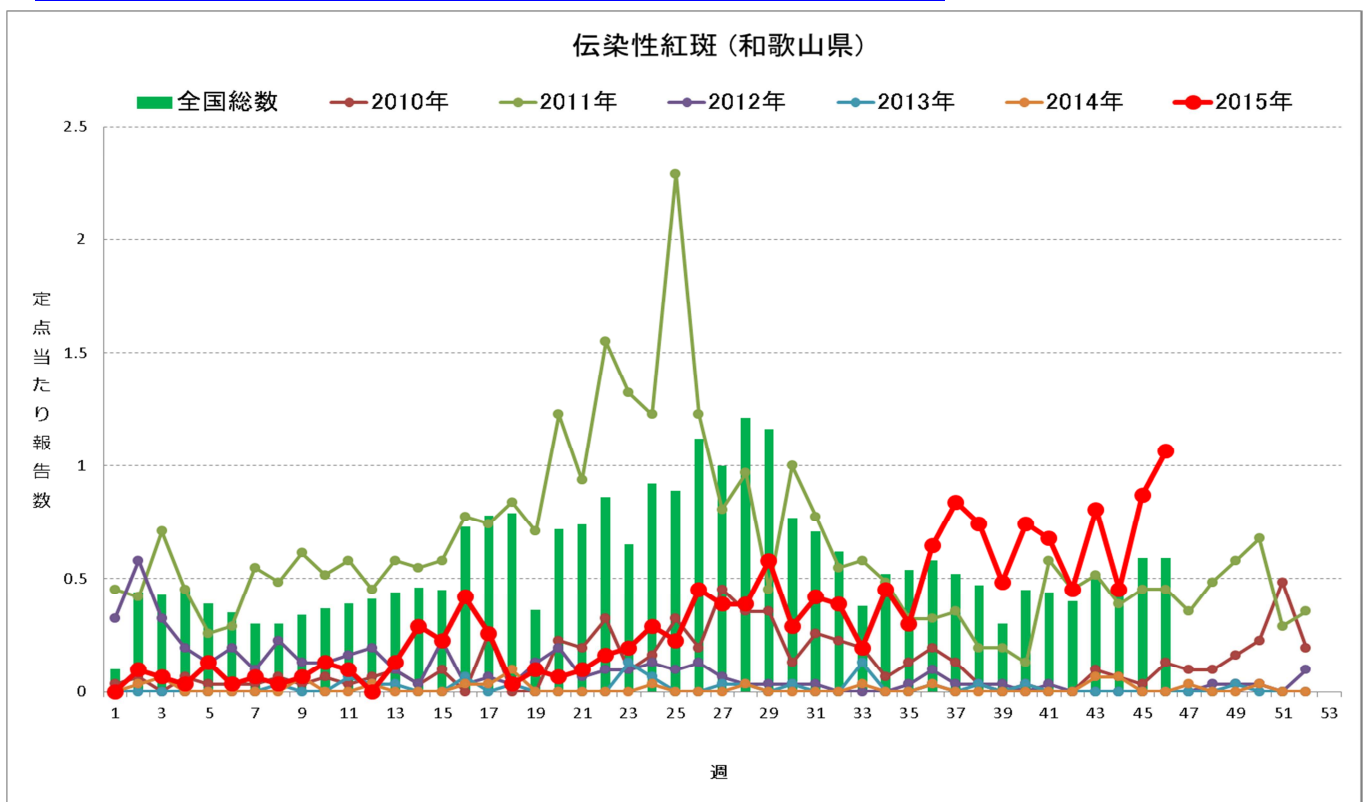
保健所別では、定点当たり患者報告数が湯浅保健所管内で4.00人(前週:3.33人)、海南保健所管内が2.50人(前週:1.00人)と警報レベルとなっています。

全国的には患者報告数は0.59人(前週:0.59人)と横ばいで過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

この疾病の感染経路は、飛沫感染および接触感染です。感染予防のために、手洗いうがいを励行しましょう。

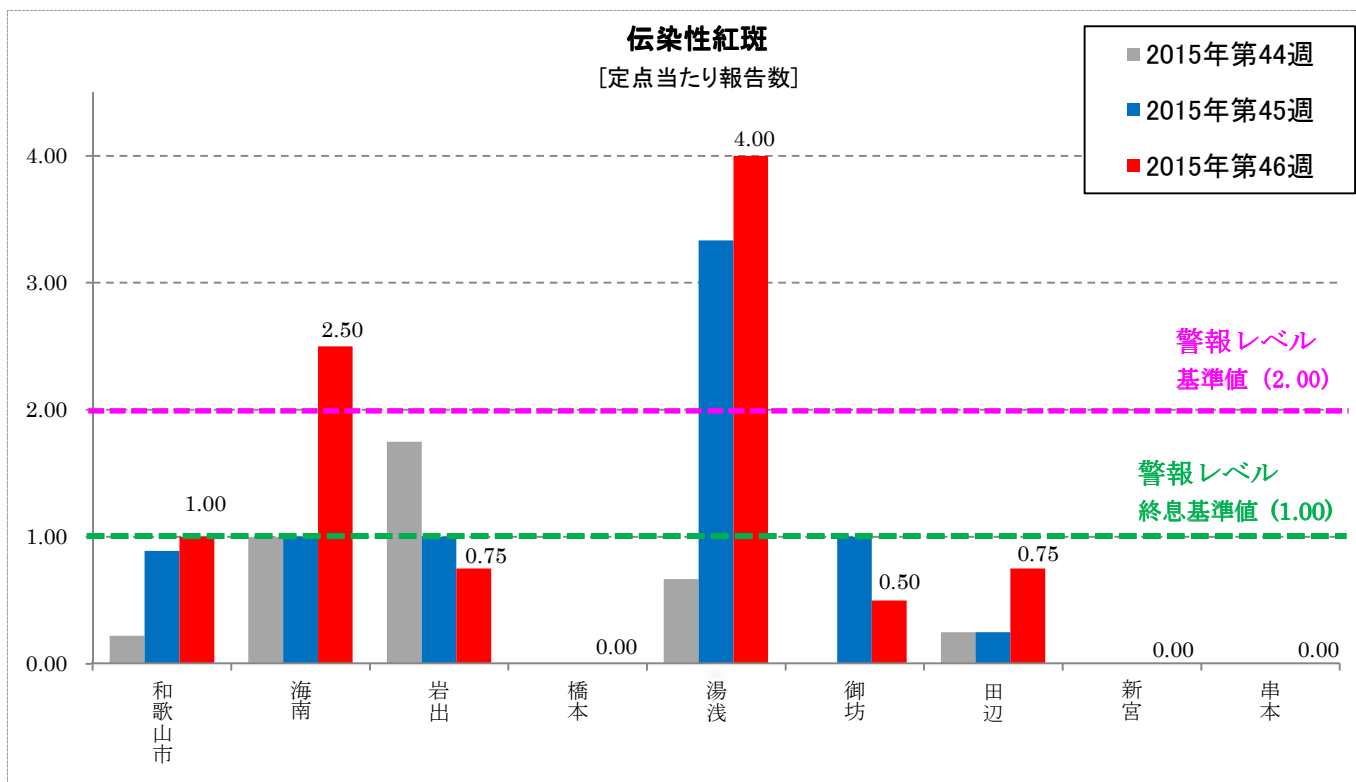
伝染性紅斑に関する説明はこちら:(国立感染症研究所HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>



伝染性紅斑

[定点当たり報告数]



－ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 過去5年間の同時期に比べ多い！ －

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.03人（前週：0.97人）と少し増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

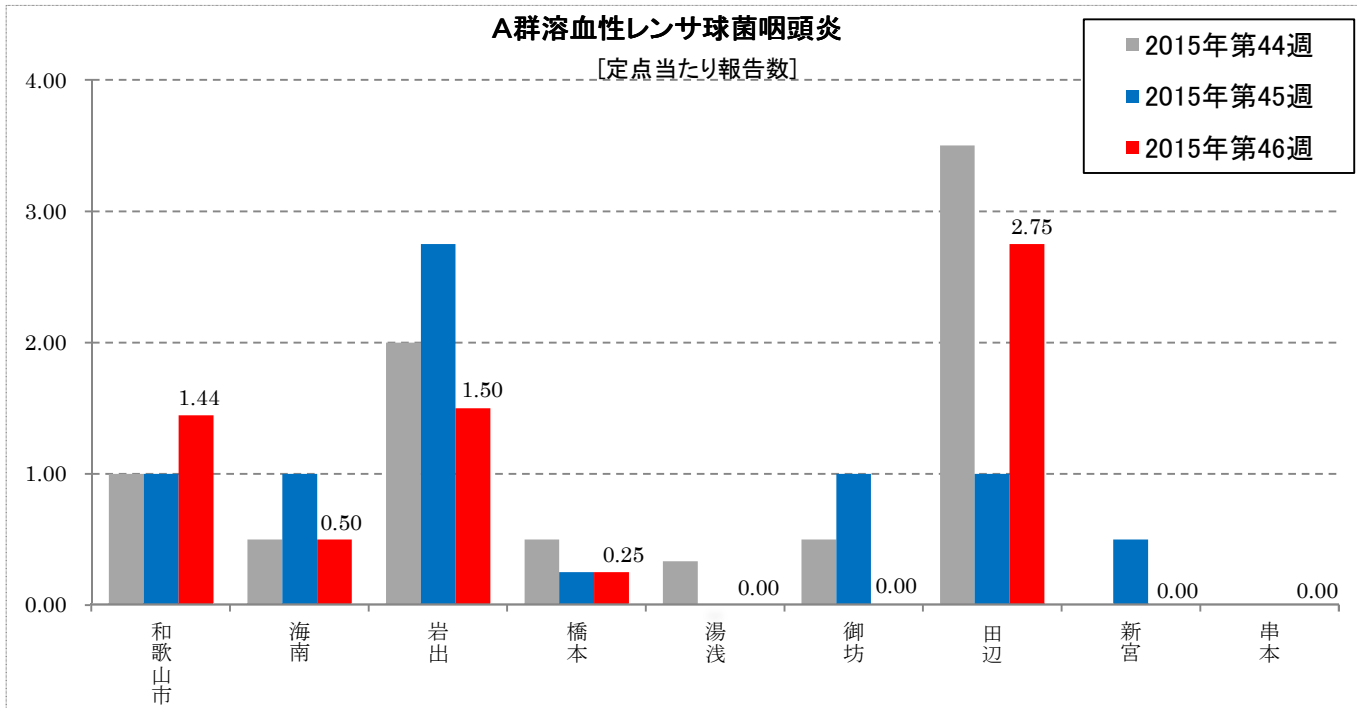
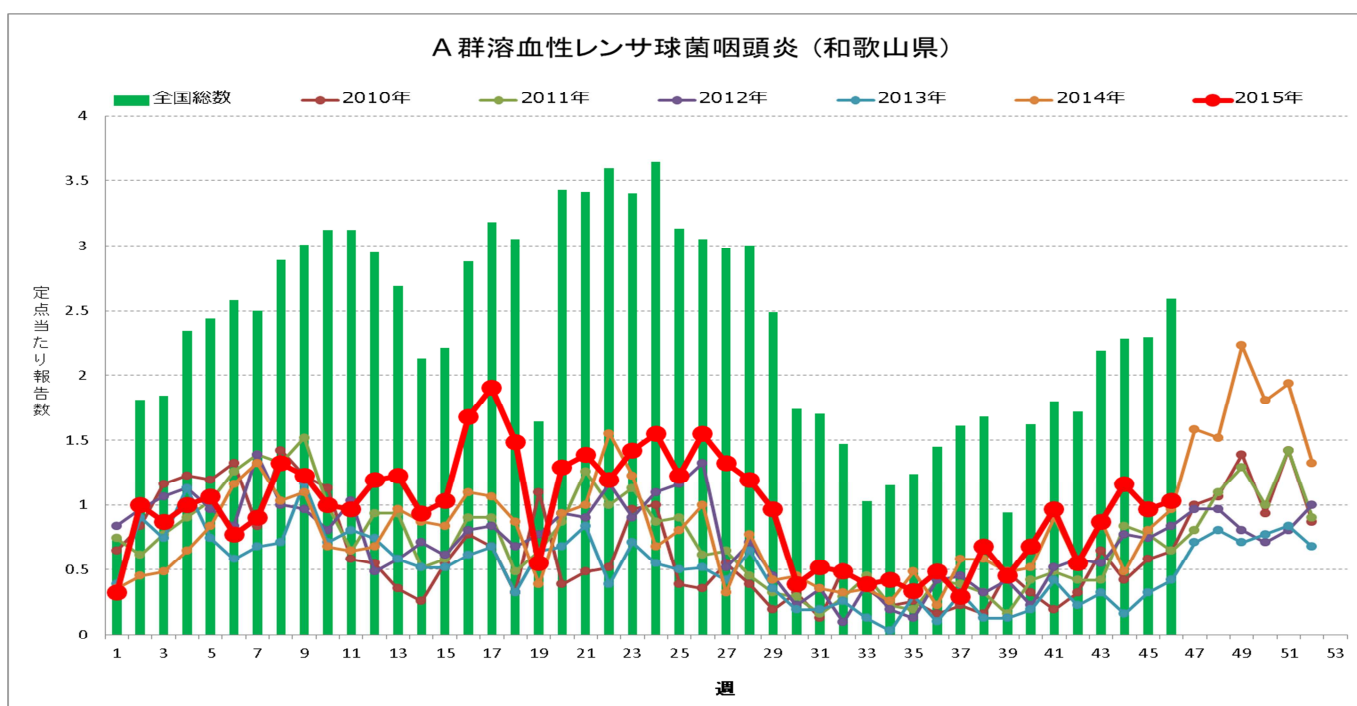
保健所別では、田辺保健所管内が2.75人（前週：1.00人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は2.59人（前週：2.29人）と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>)



— **RSウイルス感染症** : 今後の動向注意! —

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

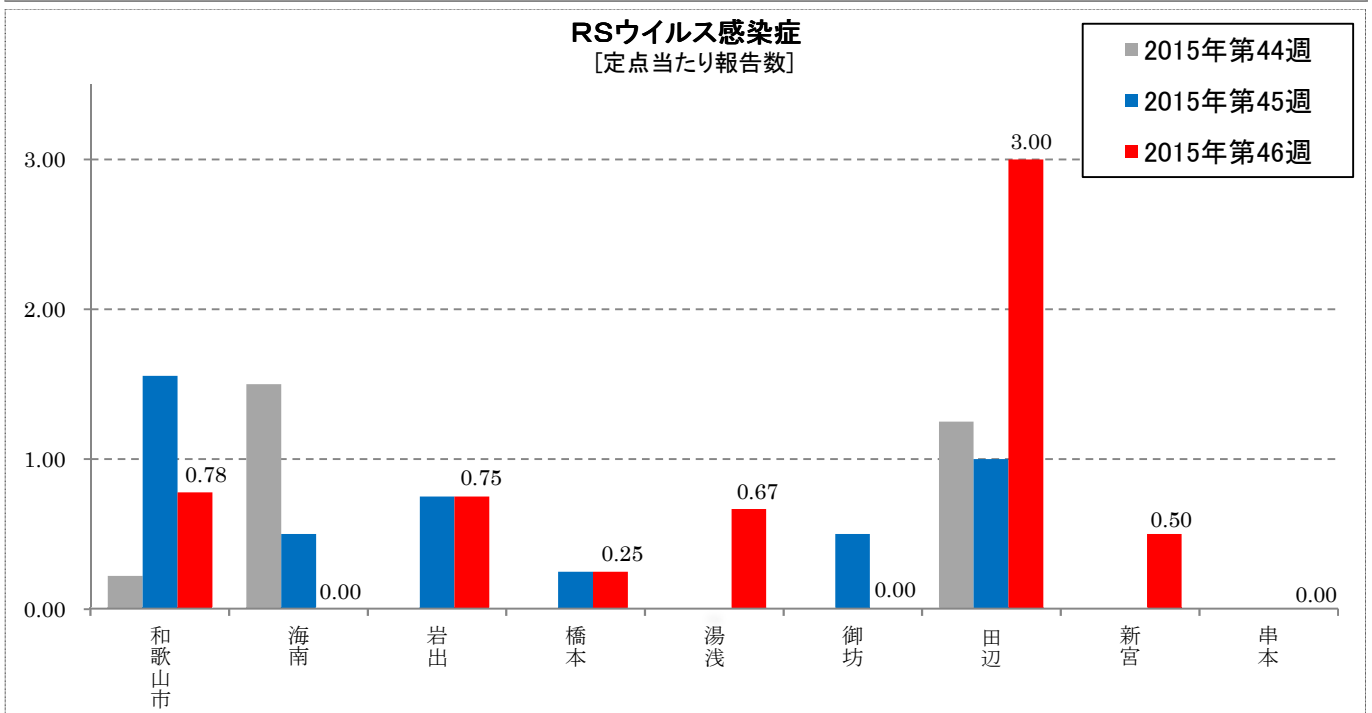
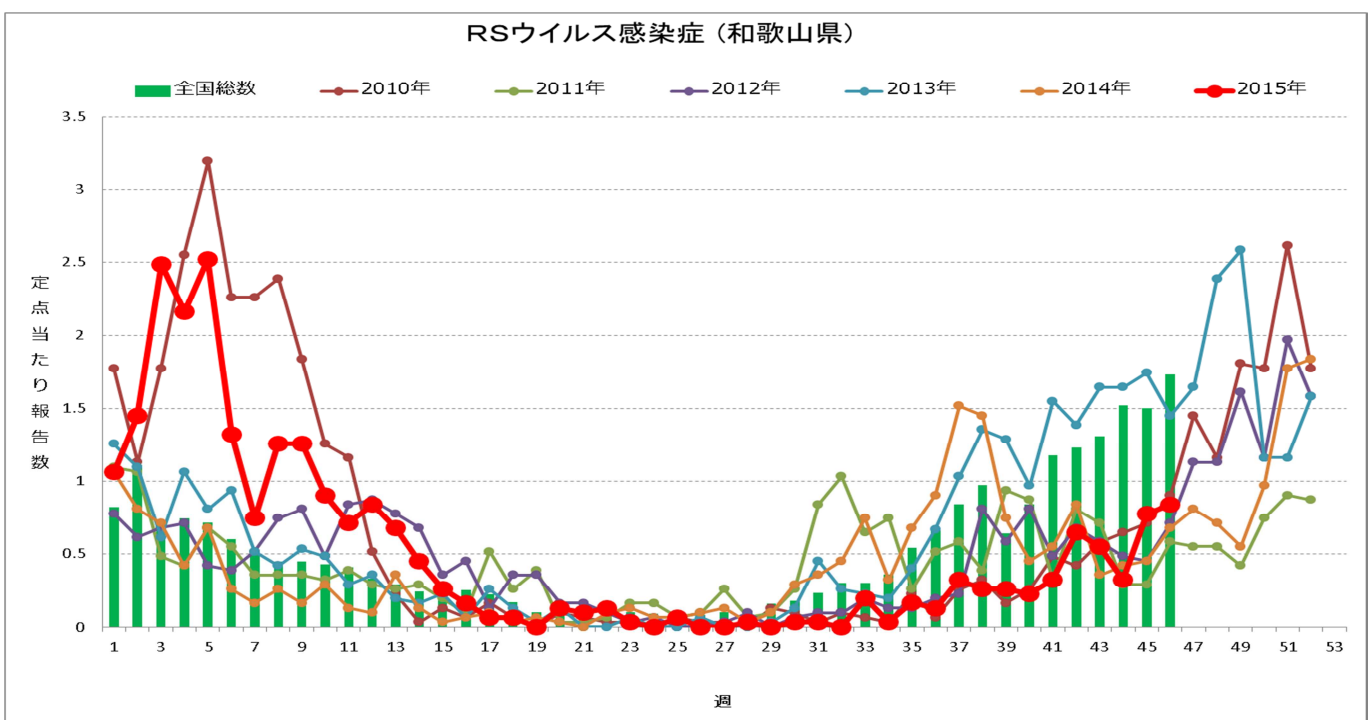
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、0.84人（前週：0.77人）と増加し、過去5年間の同時期とほぼ同じ状況です。全国的に流行しており、例年冬から春にかけて流行がみられるため今後の動向に注意してください。

保健所別では、田辺保健所管内が3.00人（前週：1.00人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は1.73人（前週：1.50人）と増加し過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>)



風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 5 名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 名

(2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	165
細菌性赤痢	2
腸管出血性大腸菌感染症	8
A 型肝炎	1
重症熱性血小板減少症候群	1
つつが虫病	2
デング熱	1
日本紅斑熱	17
レジオネラ症	7
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	3
ウイルス性肝炎	2
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	14
梅毒	19
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	1

◆◆ 5 類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

伝染性紅斑（海南保健所管内、湯浅保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	4	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.08	-	-	-	-	0.02	0.04	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	26	2	4	13	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.84	0.06	0.13	0.42	0.13	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	14	-	2	4	3	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-
	定当	0.45	-	0.06	0.13	0.1	0.06	-	0.06	-	-	-	0.03	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	32	-	-	1	1	1	2	4	4	6	2	4	7	-	-
	定当	1.03	-	-	0.03	0.03	0.03	0.06	0.13	0.13	0.19	0.06	0.13	0.23	-	-
感染性胃腸炎	報告	114	2	3	27	17	13	16	8	8	7	1	1	6	3	2
	定当	3.68	0.06	0.1	0.87	0.55	0.42	0.52	0.26	0.26	0.23	0.03	0.03	0.19	0.1	0.06
水痘	報告	8	1	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-
	定当	0.26	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	-	0.03	-	0.03	-	-	0.03	-	-
手足口病	報告	6	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.19	-	-	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	33	-	1	-	-	3	3	3	7	4	2	4	6	-	-
	定当	1.06	-	0.03	-	-	0.1	0.1	0.1	0.23	0.13	0.06	0.13	0.19	-	-
突発性発しん	報告	22	1	7	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.71	0.03	0.23	0.35	0.06	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	-	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	4	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	-	-	0.06	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	1	3	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.33	0.5	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	7	-	3	1	2	-	12	1	-
	定当	0.78	-	0.75	0.25	0.67	-	3	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	1	6	-	-	5	-	-
	定当	0.22	-	0.25	1.5	-	-	1.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	13	1	6	1	-	-	11	-	-
	定当	1.44	0.5	1.5	0.25	-	-	2.75	-	-
感染性胃腸炎	報告	58	10	24	9	4	6	2	1	-
	定当	6.44	5	6	2.25	1.33	3	0.5	0.5	-
水痘	報告	4	1	-	-	2	-	-	1	-
	定当	0.44	0.5	-	-	0.67	-	-	0.5	-
手足口病	報告	4	-	-	1	-	-	1	-	-
	定当	0.44	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-
伝染性紅斑	報告	9	5	3	-	12	1	3	-	-
	定当	1	2.5	0.75	-	4	0.5	0.75	-	-
突発性発しん	報告	10	1	6	-	4	1	-	-	-
	定当	1.11	0.5	1.5	-	1.33	0.5	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	1	1	-	1	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	0.25	-	0.5	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	3	…	-	-	3	2	-	-	…
	定当	1	…	-	-	3	2	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

10月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.82人(先月:2.00人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の65%となっています。

【10月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	20	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	3	13
	定当	1.82	0.09	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	0.09	-	0.09	-	0.27	1.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2015 年第 46 号

発行日：平成 27 年 11 月 19 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成されています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。